

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立北図書館	施設所管課	教育委員会 社会教育部 中央図書館
施設住所	尼崎市南武庫之荘3-21-21	竣工	S54.6.1(築満42年)
設置目的	(図書館法第2条)図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること		
主な事業内容	読書推進のための、図書、記録その他資料の貸出・返却処理を含む管理業務および事業の計画・実施		
指定管理者名	株式会社図書館流通センター	指定期間	自 R3.4.1 至 R8.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 事業の実施に当たっては、読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする目的のもと、「尼崎市立図書館基本的運営方針」を意識しながら、より効果的に実施していく。

実施結果
 引き続きコロナ禍ではあるものの、図書館運営を積極的に行い、利用者にとって利用しやすい図書館運営を目指している。季節に応じた図書の特集や、子ども向けの楽しいワークを実施したりと目標の貸出冊数や来館者数に近づこうと日々努力をしている。近隣の学校との連携も積極的に行っている。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性	指標①：貸出冊数(単位:冊)											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	659,469	730,583	801,397	872,211	943,025	1,013,839
	実績	-	-	-	-	-	596,540	573,802				
	達成度	-	-	-	-	-	0.90	0.79				
	評価	-	-	-	-	-	△	△				
	指標②：来館者数(単位:人)											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	322,942	337,059	351,176	365,293	379,410	393,527
	実績	-	-	-	-	-	236,904	250,545				
達成度	-	-	-	-	-	0.73	0.74					
評価	-	-	-	-	-	△	△					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 利用者が安心して図書館が利用できるようコロナ感染防止策を講じながら図書館運営を行う。利用者のニーズを汲み取り、一人ひとり丁寧な対応を心掛ける。地域との連携を十分に取ながら図書館運営を行う。

実施結果及び評価
 事業の実施に当たっては、コロナ禍であることを常に意識した取り組みを行い、参加者が多い事業では密にならないよう工夫するなど利用者に安心して参加してもらえるよう心掛けている。近隣の小学校の授業協力、トライやるウィーク受け入れなど、地域との連携を深める取り組みも積極的に行っている。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)
②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 物品購入の際には、「環境物品等の調達に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を検討する。また、不要な電気の消灯、マイボトル持参、両面印刷や2UP印刷等に努める。

実施結果及び評価
 令和3年度環境監査で指摘がされたことから、環境への取り組みの意識は高まっている。また修繕の際は合い見積もりを取るなど、効率的・経済的に指定管理料を運用している。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとはいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	104,690,000	104,690,000	0	人件費	71,700,000	72,961,246	-1,261,246
光熱費補助金	845,000	845,000		光熱水費	6,500,000	8,150,165	-1,650,165
				修繕費等	9,065,000	7,070,507	1,994,493
				維持管理費等	17,425,000	18,224,372	-799,372
収入計	105,535,000	105,535,000	0	支出計	104,690,000	106,406,290	-1,716,290

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする。北図書館としての効用を最大限発揮させるものであるか、管理を安定して行う能力を有しているか。
指定管理者自身	地域から愛される図書館
指定した目標	

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	読書を通じて地域住民の学びに対する関心を向上させ、日常生活をより豊かなものにする。						
目標指標	指標	北図書館のカウンター職員の対応として、「満足」「まあ満足」と答えた割合(利用者アンケート)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	90%	90%	90%	90%	90%	地域住民に多く利用してもらえる公共施設であることがわかる。
	実績値	88%					

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか、協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築
 利用者が北図書館・中央図書館相互に便利に利用できるよう日々連絡を取りながら業務を行っている。定期的に選書会議を開催し、顔を見ながらの協議の場を持っている。令和5年1月は、図書館システム更新を控えていたが、綿密に調整をしながら詳細なプログラムを決定した。今後とも、効率的な図書館運営に向けて相互協力したい。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 引き続きコロナ感染防止策を講じながら、安心して図書館を利用できるように取り組んでいる。それぞれの図書館に要望や意見があったものについては、月1回の定例会で共有して改善につとめている。絵本読み聞かせ等の事業は定例で行っているが、「調べる学習コンクール」は今年度初めて中央図書館と北図書館でそれぞれ開催し、全国大会に応募する作品を選んだ。このような、中央図書館と北図書館とで共催できる事業を増やしていきたい。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)
 引き続き、利用者が安心して図書館を利用できるよう図書館運営を行った。定例イベント「あかちゃんひろば」の拡大版を開催し好評をいただいた。今後も定期的な開催を計画したい。システム更新もあり、運用面で中央図書館に確認が必要な事項が増えている。その都度記録するなど、市内で統一された図書館サービスの提供に繋げたい。施設管理についても、中央図書館と協議しながら、修繕箇所の優先順位を見極め、適切に工事を実施していく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)
 令和5年1月に実施した図書館システム更新については、積極的に意見を出してもらった点や、館内での引き続きやスムーズな対応に尽力した点は評価できる。来館者数や貸出冊数は、コロナ禍のなかで一定の成果があったものの目標には及んでいないことから、日々の図書館運営をさらに工夫したものにできるよう取り組みの幅を広げ、さらに幅広い世代にも利用が広がるようしてほしい。また施設の部分的な補修を指定管理料内で執行したのは評価できる。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)
 日々多くの利用者が来館する施設であることから、引き続き感染拡大防止策を講じた図書館運営を続けながら、より利用者のニーズに合わせた図書館サービスを提供できるようにつとめていく。利用者には施設面・サービス面でご不便をおかけしないよう丁寧な対応を心掛けることが必要である。

パートナーシップ